弾道ミサイルに伴う学校の対応について

郡山市教育委員会

【 事前の対応 】

- 1 児童生徒等に対し、弾道ミサイルに飛来に伴う行動等について指導する。
 - 弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾すること
 - ミサイル着弾時による爆風や破片などによる被害が想定されること
 - ミサイルが発射された場合は、Jアラートにより、防災行政無線、緊急速報メール等が発信されるので、情報を確実に聞くこと
 - 状況を判断し、自らの身の安全を確保できるよう、落ち着いて、直ちに行動すること
 - 弾道ミサイルが日本の上空を通過した場合や日本の領域外の海域に落下した場合は、引き続き屋内に避難する必要はないこと。その場合、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに近くの人に連絡すること
- 2 各学校の危機管理マニュアルにJアラートへの対応について追記し、Jアラートに対応した避難訓練をあわせて実施する。
- 3 行動方法や学校の対応等については、保護者に対して授業参観日や教育相談、学校だより等あらゆる機会をとおして周知し共通理解を図っておく。また、必要に応じて緊急メール等で連絡する等の体制を整えておく。

ミサイルの発射（全国瞬時警報システムJアラート 第1・2報）

- ◆ 弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるとして判断された場合 【 第1報 】

ミサイル発射。ミサイル発射。北朝鮮からミサイルが発射された模様です。建物の中、又は地下に避難して下さい。

- ◆ ミサイルが日本の領土・領海に落下する可能性があるとして判断された場合 【 第2報 】

直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

登下校時

【 家や学校を出る前には・・・ 】

- ◇ 安全が確認できるまでは、登下校をしない。家や学校で待機する。

【 歩いているときは・・・ 】

- ◇ 近くのできるだけ頑丈な建物や地下のある場所に避難する。
- ◇ 近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、目を閉じ耳をふさぎ、頭部を守る。
- ◇ 安全が確保されたら、学校や家へ向かう。

【 自動車等の車内にいるときは・・・ 】

- ◇ ガソリンなどに引火する恐れがあるので、車をとめて安全な場所に避難する。
- ◇ 車からであると危険な場合は、車内で姿勢を低くして、目を閉じ耳をふさぎ、頭部を守る。

学校では

- 事前に児童生徒の通学方法と通学路を把握しておく。
- 地域や家庭と連携し、通学路の避難できる建物を確認しておくとともに、適当な建物がない場合の避難方法を確認させる。
- 登下校時の対応について保護者に周知し、共通理解を図る。

在 校 時	<p>【 校庭など屋外にいる場合は・・・ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 速やかに教室等の屋内に避難する。 ◇ 屋内に避難できない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、<u>目を閉じ</u>耳をふさぎ、<u>頭部</u>を守る。 <p>【 校舎内にいる場合は・・・ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 学校施設内のできるだけ窓のない部屋に避難する。 ◇ 窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れる。 	<p>学校では</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 児童生徒への指示系統や校内の避難場所について確認しておく。 □ マニュアルに基づき避難訓練を実施する。
休 日 等	<p>【 屋内にいる場合は・・・ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ できるだけ窓のない部屋に避難する。 ◇ 窓がある部屋にいる場合、できるだけ窓から離れる。 <p>【 屋外にいる場合は・・・ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 近くのできるだけ頑丈な建物や地下のある場所に避難する。 ◇ 屋内に避難できない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ、<u>目を閉じ</u>耳をふさぎ、<u>頭部</u>を守る。 	<p>学校では</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 管理職への報告体制を確立しておく。 □ 部活動時の対応について確認しておく。

ミサイルの通過 (Jアラート第2報)

◆ 日本の上空を通過した場合【 第2報 】

ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは〇〇地方から△△へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。

◆ 日本の領域外の海域に落下した場合【 第2報 】

先程のミサイルは、〇〇海に落下した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください。

以下のことについて児童生徒に指導する。

【登下校前】

◇ 安全を確認し、登下校をする。

【登下校中】

◇ 安全を確認し、登下校を再開する。

【在校中】

◇ 安全を確認し、通常の教育活動を再開する。

◆ 屋外で不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、近くの人に連絡すること

ミサイルの着弾 (Jアラート第3報)

◆ 日本の領土・領海に落下した場合【 第3報 】

ミサイル落下。ミサイル落下。ミサイルが〇〇地方に落下した可能性があります。続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難してください。

以下のことについて児童生徒に指導する。

【屋外にいる場合】

◇ 口と鼻をハンカチ等で覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内又は風上へ避難すること

◇ 不審な物を発見した場合には、決して近寄らないで、近くの大人に連絡すること

【屋内にいる場合】

◇ 換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉すること

【学校では】

□ 児童生徒の安否を確認後、保護者への安否情報伝達等を行うとともに、必要に応じて保護者への引渡しを行う。

□ 児童生徒、教職員、校地・校舎等に被害があった場合は速やかに教育委員会に報告する。